■株主メモ

事業年度	毎年５月１日から翌年４月30日まで
基準日	定時株主総会　４月30日 剰余金の配当　期末　４月30日 中間10月31日
定時株主総会	毎年７月開催
証券コード	2438
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL http://www.asukanet.co.jp ＊ただし、電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL　0120-782-031
取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	東証マザーズ

※住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

※未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 アスカネット
広島県広島市安佐南区祇園３丁目28番14号
TEL:082-850-1200（代表）

VEGETABLE OIL INK

ASUKANET

株主・投資家の皆さまへ
第17期事業のご報告

2011年５月１日から2012年４月30日まで

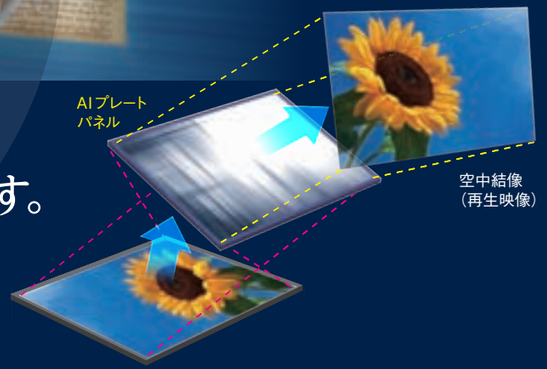
AI plate

エアリアルイメージングプレート

アスカネットがお届けする、
新しい空中結像技術

その1枚が、
未来をあざやかに映し出す。

AIプレートは、被写体の実像をリアルタイムに空中に
映し出すことができる特殊なプレートです。
ホログラフィックやインテグラルフォトグラフィなど、
従来の立体映像技術とは全く異なる新しい空中結像技術。
基本的に被写体に制限がないため、あらゆるものを
空中に映し出すことが可能で、特殊なメガネなどの装置も不要です。



5つの特徴

特殊な反射プレート１枚で被写体を空中に再結像できるAIプレートは、他に特別な装置を必要としません。
高精細で映像の飛び出し距離が高く、樹脂成型による量産化・ローコスト化が可能、などの特徴があります。

- 液晶ディスプレイ（実映像･被写体）
- メガネなどの特殊装置不要
- 高照度・高精細 高い飛び出し距離
- 大型化・量産化・ローコスト化
- 他の光源の影響を受けない

将来に向けて、着実に手を打つ。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年４月期には、オンデマンド写真集の制作を手掛ける主力のパーソナルパブリッシングサービス事業が国内外市場での競合激化や円高、東日本大震災の影響などにより伸び悩んだ反面、遺影写真のデジタル加工などを行うメモリアルデザインサービス事業では安定した収益を上げることができました。また、当初予定していた印刷機の検収が遅れ、その減価償却費の計上が先送りとなったことなどから、製造原価が当初予想に比べ減少しました。

その結果、当期の業績は、売上高が44億85百万円（前期比0.3%減）、経常利益が7億37百万円（同0.7%増）、当期純利益が4億26百万円（同3.6%増）の減収増益となりました。

一見、目立った動きがないかのようにも見えますが、当社は現在、次の成長に向けた取り組みを着々と進めています。パーソナルパブリッシングサービス事業では、他社の追随を許さない新商品の開発を進め、メモリアルデザインサービス事業も、さらなるサービスの充実に向け着実に手を打ちつつある状況です。新規参入を果たしたエアリアルイメージング（空中結像）事業も、着実に実用化へと近づいています。

近い将来には、新たな成長軌道に乗った当社をお目にかけられるかと存じます。当社の今後に、どうぞご期待下さい。

代表取締役社長

福　田　幸　雄

福田　幸雄（ふくだ ゆきお）　昭和23年生まれ、64歳。広島県広島市出身。昭和46年、文化服装学院卒業。昭和57年、アスカネットの前身となる飛鳥写真工芸社を創業。昭和58年、株式会社飛鳥写真館設立。平成７年に株式会社アスカネットを設立し、現在まで代表取締役社長。趣味は写真とゴルフ。

クローズアップ
トップメッセージ
トピックス
セグメント概況
財務指標
配当方針／CSRトピックス
会社概況

“仕込み”に力を入れた年

Q 当期には、前期にあった「アスカブックメーカー２」リリースのような大きな動きがありませんでした。

東日本大震災や欧州の金融危機で日本経済が落ち込む恐れがあり、世の中の推移を見守ることを第一としたためです。しかし一方では、プロ写真家用の写真集編集ソフト「アスカブックメーカー２」のバージョンアップは着々と進め、多言語展開も始めつつ、パーソナルパブリッシングサービス事業で用いるデジタル印刷機を追加・更新するなど、将来に向けた“仕込み”に力を入れました。

印刷機の追加は、近くリリースする新たなフォトブックに対応するためのものです。従来型のフォトブックは冊子の“背中”でページを綴じ込んでいるため、開いた際には、中央部が“谷”、両側のページが“山”という、いわば“かもめ”が飛んでいるような形になっていました。これに対し新たなフォトブックは、長いロール紙を使い、製本過程を工夫することで、どのページを開いても見開きが平ら、かつ綴じ込み線も入らないようになっています。見開き２ページにまたがる大胆な写真使いを可能とするためで、当社ではこれを「レイフラットブック」と名付けました。

フォトブックの大市場のひとつである結婚式写真集では、縁起上、左右のページで写真が分割される“泣き別れ”が好まれません。「レイフラットブック」はこの点において、他社の追随を許さない競争力を持つ商品です。

このほか、写真集の用紙一枚一枚にラミネートを貼り付けることで光沢の有無を自在にコントロールしつつ色褪せを起こりにくくしたもの、100部を印刷するごとにデジタル印刷機を調整することで色味を一定に維持したものなど、コストはかかるものの高い価格を付けられる商品に注力しています。

ASUKABOOK EUROPE トップページ

アスカブックメーカー２

他社がやらないことをやる。アスカネットはそういう会社

Q どちらかと言えばニッチな分野の商品ですね。

ニッチな商品は、手間がかかったり高いクオリティが求められたりしますが、その分プライスコントロールが可能でビジネスとしては一番安定します。他社がやらないことをやる。アスカネットは、そういう会社です。社員にも「より仕事を面倒にするためには、どうすれば良いのかを考えなさい」と常々伝えています。

現在、国内の消費者向けフォトブック市場には数十社が参入し、激しい価格競争が起こっています。価格競争に巻き込まれれば利益は減少していくでしょう。反対に、価格競争以外の方向性を見いだせれば、きちんと利益は取れます。それが、他社が断るような難易度の高い手間のかかる仕事です。

当社には自社工場と、長年培った技術があります。だからこそニッチなニーズに合った商品を素早く作れ、それが競争力に繋がっています。

例えば、学校の卒業アルバムは個々のニーズにより形まで変える必要のある典型的な少量多品種商品ですが、この市場に注力した結果、現在では約2,000校から発注をいただけるようになりました。また、鉄道ファン向けの写真集制作サービスも人気が出ており、当期に東京・銀座と神戸の２カ所で開催した人気鉄道写真家の写真展は、会場に人が入りきれないほどでした。

もちろん、マスのマーケットでも当社は、制作冊数年間40万冊近くというスケールメリットを背景に競争力を保っています。当期には、簡便さを求めるマスのニーズに応じ、簡易フォトブック発注サービス「オートアルバム」の大幅リニューアルを実施。写真データをネット上に一気にアップロードするだけで、フォトブックが作れるようにしました。このマーケットでは、とことんまで競争していくつもりです。

オートアルバムサイト

価格の問題を解決し、本格実用化へ

Q 注目度の高い「エアリアルイメージング（空中結像）」事業の動きは？

お陰さまで、空中での結像精度や輝度も相当上がってきています。量産化に向けた技術の醸成も進めており、当期にはいくつかの生産特許も申請しました。加えて3つのコンベンションに試作品を出品したのですが、いずれも行列が出来るほどの大反響。多くの企業から引き合いをいただき、試作品の納入を通じて売上の計上が始まりました。

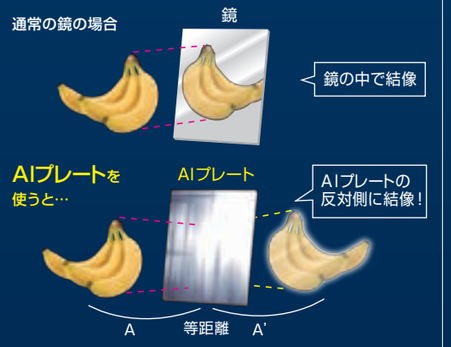
また、そのようなお付き合いを通じて、この技術が何に使えるのかも段々分かってきました。自動車分野であればフロントガラス手前の空中に浮くメーターや操作パネル、アミューズメント分野ならゲーム機、広告分野であれば次世代デジタルサイネージの空中ディスプレイなどです。そういう分野であれば、一回の注文量が多量になる、ということも分かってきました。

一方では、実用化までに解決すべき課題も明らかになってきています。現時点ではまだ量産は難しいこと、求められるサイズに比べ試作品がまだ小さいこと、何より量産化によって製造コストの低減が必要であることなどです。

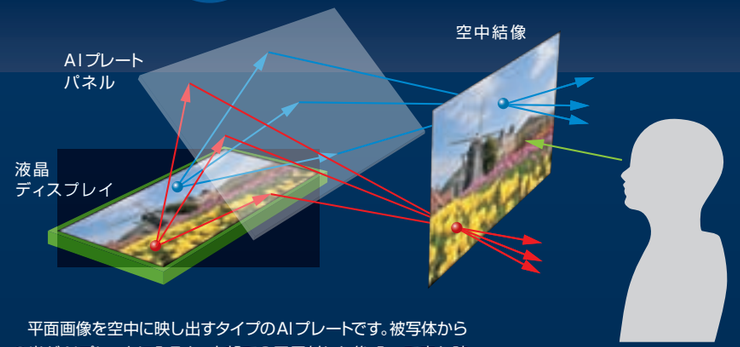
そこで来期中には、まず価格の問題をある程度解決したいと思います。鍵となるのは、空中に画像を結像させるキーデバイス「AI（エアリアルイメージング）プレート」の生産方法です。当初は、線状の微細なガラス鏡を人手で貼り合わせて作っていましたが、積層体から切断する方法で試作が実現し、まずは、この方法での量産を目指しています。画像の質的にはガラスがベストながら、原価低減や量産、大型化を考えれば、樹脂やフィルムといった素材の可能性も検討する必要があります。ともあれ近い将来には、どういう作り方がベストなのかを確定させ、必要な技術や生産手法を確立する方針です。ビジネス化は、そう遠いことではないと思っています。

エアリアルイメージングの仕組み

エアリアルイメージングの原理は、鏡の前に物を置くと鏡面に像が映る現象の応用です。鏡の代わりにガラス（現状）で出来た特殊なパネル「AI（エアリアルイメージング）プレート」を用いることで、AIプレートを挟んで実物のちょうど反対位置に当たる空中に、実物大の像を映し出します。

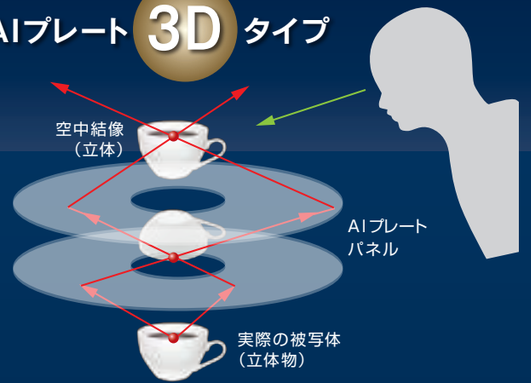


AIプレート 2D タイプ



平面画像を空中に映し出すタイプのAIプレートです。被写体からの光がAIプレートに入ると、内部で２回反射した後、入って来た時と同じ角度で反対側へ光を出します。外へ出た光は、被写体のちょうど反対側の位置に当たる空中で像を結ぶため、あたかもそこに実物が浮かんでいるように見える、という仕組みです。

AIプレート 3D タイプ



空中に立体像を映し出すタイプで、２枚の AIプレートを組み合わせて使います。AIプレート２枚をある程度の距離を置いて重ねて設置し、その下に実物を置くと、まず下側のAIプレートが実物の像を、天地逆さまの状態で２枚の AIプレートの間に映し出します。その像をさらに上側の AIプレートが拾い、上部の空中で像を結ぶことで、立体画像が"鏡映し"になることなく何もない空中に映し出されます。

利用イメージ

2D：事務機器（次世代ITデスク）

3D：アミューズメント施設（大型ゲーム機）

マイブックエディターのマック版をリリース

Q フォトブック関連でも新たな動きがあるとか。

消費者向けフォトブック編集ソフトの主力「マイブックエディター」のマック版をリリースします。アップル製品人気の高まりに加え、写真が好きな人にはマックユーザーが多いためです。マック用ソフトは制作が大変な上、OSのバージョンアップに合わせソフト側もバージョンアップをする必要があるため、力のある企業しか参入できません。当社はマック版を市場投入することで、フォトブックNo.1企業としての実力を示し、他社との差別化ポイントとします。

新オペレーションセンターを関西に

Q 他に、来期に手掛けたいことは？

これまで広島と千葉・幕張の2カ所だった遺影写真のオペレーションセンターを関西地区にも設け、3拠点体制にする方針です。東日本大震災の教訓を受けてのことです。

震災発生時には、東日本以北の遺影写真加工を担当する「幕張オペレーションセンター」が液状化の影響で一時使えなくなり、リスク対策の必要性を痛感させられました。そこで新オペレーションセンターは、広島と幕張のバックアップという性格上、関西地方に設置します。

経営面では、新たに社外取締役制度を設け、広島経済大学の細井謙一教授をお迎えします。コーポレート・ガバナンスが問われる時代となり、外部の方の率直なご意見を聞ける場が必要と考えました。細井教授はマーケティングの専門家で、現経営陣にはないフレッシュな思考に期待を寄せています。

◇ ◇ ◇

最後に、株主の皆さまへの配当につきましては、来期から配当性向を、現在の20%から30%へと引き上げます。1株当たり配当予想は26円になります。利益も手元現金も順調に積み上がり、経営が安定したことから、株主還元の充実を図ることとしました。

これからも安定配当と業容の拡大を通じ、皆さまのご出資にお報いできればと存じております。末長いお付き合いを賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

ブランドロゴとサイトを一新

当社はこのほど、コーポレートブランドロゴを一新し、コーポレートサイト（http://www.asukanet.co.jp）のリニューアルも実施しました。

新たなコーポレートブランドロゴは、コーポレートカラーである青を基調としたシンプルなデザイン。「エアリアルイメージング事業」の開始により新たなステージへと挑む当社の姿を象徴しています。また、新サイトは、分かりやすく情報を伝えられるシンプルなデザインが特徴。ニュースとその画像を主要コンテンツとしつつ、投資家情報についても、Q&Aや財務情報などの追加により充実を図りました。

〈コーポレートブランドロゴ〉

ASUKANET

サイトトップ

メモリアルデザインサービス事業のロゴとサイトもリニューアル

一方では、メモリアルデザインサービス事業のサービスロゴを一新し、専用ホームページ（http://www.mds.ne.jp）もリニューアルしました。

新ロゴは、「思い出をかたちに…」という当事業のキャッチフレーズを、ハートをモチーフに表現したものです。また、新ホームページでは、情報を分かりやすく伝えられるシンプルなデザインを採用。豊富なサービス・商材をカテゴリー分けし、画像を多用することで分かりやすく表現しています。

〈新サービスロゴ〉

MDS 思い出をかたちに…

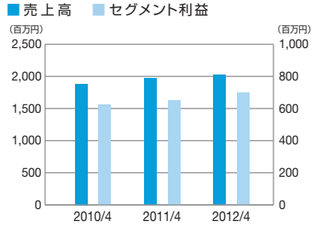
MDS Memorial Design Service

専用ホームページ

メモリアルデザイン サービス事業

売上高 20億91百万円
（前期比 5.8%増）

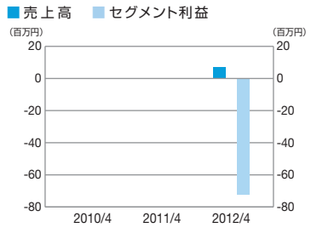
- 主力である遺影写真加工収入が着実に増え、額やペーパーなどのサプライ品の売上も増加。
- 動画を用いた演出ツールも好調に推移。



エアリアルイメージング 事業

売上高 7百万円
（前期実績なし）

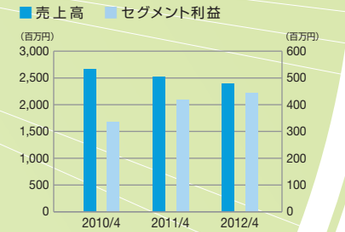
- 空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、昨年3月に事業を開始。
- 展示会に3回出展、関心をいただいた会社にデモンストレーションを実施。
- 下期に試作品が完成し、その販売を開始。



パーソナルパブリッシングサービス事業

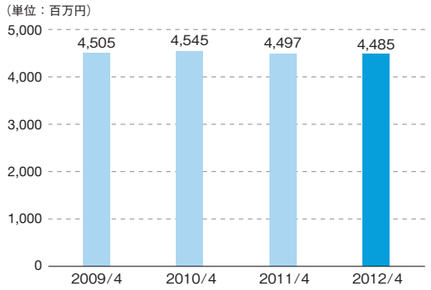
売上高 23億86百万円
（前期比 5.3%減）

- 主要ターゲットの婚礼市場が、低価格志向や東日本大震災の影響で厳しい状況。
- 海外プロフェッショナル写真市場では、多くの会社の参入や円高の進行で苦戦。
- 国内一般消費者市場では、高品質、多品種、発注用ソフトウェアの使いやすさを強調し、利益率の維持、向上に努める。



▶財務指標

売上高

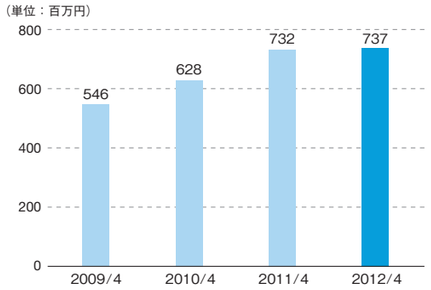


44億85百万円

（前期比 0.3%減）

景気動向に左右されにくい葬祭市場を対象としたメモリアルデザインサービス事業が堅調に推移する一方、パーソナルパブリッシングサービス事業が東日本大震災に伴う婚礼写真需要の低迷などから減収となり、全体でもわずかながら減収に。

経常利益

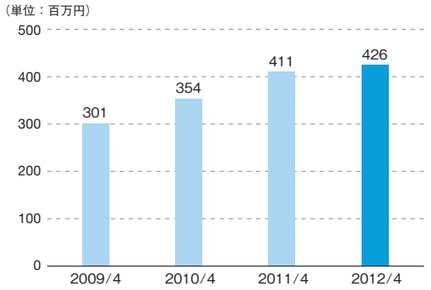


7億37百万円

（前期比 0.7%増）

営業利益の増加に加え、パーソナルパブリッシングサービス事業での材料費削減、設備投資の検収遅れによる減価償却費の減少などがあり、全体では増益に。

当期純利益

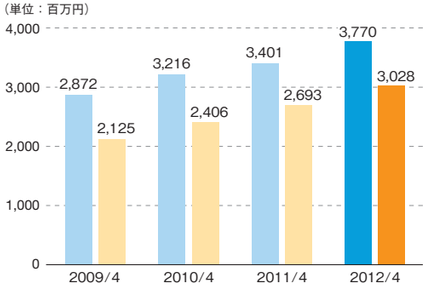


4億26百万円

（前期比 3.6%増）

経常利益の増加に加え、前期に特別損失に固定資産臨時償却費などを計上した反動や、特別利益に新株予約権戻入益を計上したことなどから増益に。

総資産・純資産



総資産 **37億70百万円**

純資産 **30億28百万円**

利益の順調な計上により現金及び預金が、設備投資に伴い有形固定資産がそれぞれ増加したことから、総資産は増加。利益剰余金の計上により純資産も増加。

キャッシュ・フロー指標

（単位：百万円）

科　目	2009/4	2010/4	2011/4	2012/4
営業活動によるキャッシュ・フロー	455	801	642	704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 579	△ 240	△ 209	△ 764
財務活動によるキャッシュ・フロー	31	△ 153	△ 201	△ 148
現金及び現金同等物の期末残高	505	913	1,144	934

1株当たり指標ほか

（単位：円）

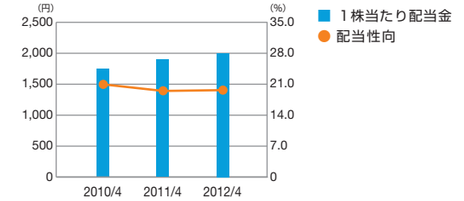
科　目	2009/4	2010/4	2011/4	2012/4
1株当たり当期純利益	7,014.69	8,289.85	97.37	101.95
1株当たり純資産	49,419.89	55,998.84	640.85	723.34
1株当たり配当金	1,750	1,750	1,900	2,000
自己資本比率(%)	73.6	74.5	78.9	80.3

＊平成 24 年 5 月 1 日付で普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行いましたが、2011 年 4 月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益および 1 株当たり純資産を算定しております。また、1 株当たり配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に掲載しております。

利益配分に関する基本方針

当社は、企業価値の継続的拡大と、株主に対する利益還元を経営の重要な課題と認識しており、配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、事業に応じた配当を継続して実施していくことを基本としております。

■ 1株当たり配当金・配当性向の推移



CSRトピックス 「第2回 NPOの広報活動支援事業」を実施

当社はCSR活動の一環として、NPO法人ひろしまNPOセンターと協働で、「第2回NPOの広報活動支援事業」を実施しました。社会に役立つ活動を手掛ける皆さまに、その活動を記録する写真集を無償提供するというもので、今年は11のNPO法人・市民団体に写真集50～100冊を寄贈しました。

東京支社とショールームを移転

当社はこのほど、東京支社とショールームを移転しました。新しいショールームには、マイブック・アスカブックの見本を従来以上の規模で展示しているほか、エアリアルイメージングのデモ機も設置しています。

新所在地
〒107-0062
東京都港区南青山2-2-3
南青山M-SQUARE 5F
TEL 03-5414-3411

会社の概要 (2012年4月30日現在)

会社設立	1995年7月
代表取締役社長	福田 幸雄
資本金	4億9,030万円
年商	44億8,545万円
業種	インターネットを利用した画像修正・写真集製作サービス
事業所	●本社 広島県広島市安佐南区祇園3丁目28番14号 TEL.(082)850-1200(代表) ●フューネラル事業部 広島県広島市安佐南区祇園2丁目39番1号 TEL.(082)850-1223 ●関東支社 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト17F TEL.(043)297-3163 ●東京支社・ショールーム 東京都港区南青山2-2-3 南青山M-SQUARE 5F TEL.(03)5414-3411

役員 (2012年7月27日現在)

代表取締役社長	福田 幸雄
常務取締役	松尾 雄司
常務取締役	功野 顕也
取締役(社外)	細井 謙一
常勤監査役(社外)	戸田 良一
監査役(社外)	米今 喜作
監査役(社外)	小田 富美男

株式の状況 (2012年4月30日現在)

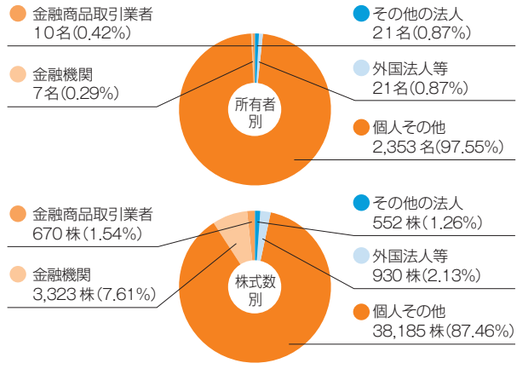
発行可能株式総数	168,000株
発行済株式の総数(自己株式1,794株を含む)	43,660株
株主数	2,412名

大株主 (2012年4月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
福田 幸雄	14,090	33.7
アスカネット従業員持株会	2,215	5.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,042	2.5
株式会社広島銀行	950	2.3
木原 伸二	810	1.9
功野 顕也	744	1.8
日本証券金融株式会社	699	1.7
福田 俊也	480	1.1
松尾 雄司	430	1.0
松井証券株式会社	403	1.0

(注) 1. 持株比率は自己株式を除いて算定しております。
2. 当社は自己株式1,794株を保有していますが、上記大株主には含めておりません。

株式の分布状況 (2012年4月30日現在)



(注) 自己株式1,794株は、「個人その他」に含めて記載しております。